

令和4年度 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施に係る 企画・調整担当者研修会開催レポート

開催日・会場：令和4年11月25日（金） ソニックシティ 602 会議室

一体的実施に係る企画・調整担当の医療専門職を対象とし、埼玉県保健医療部国保医療課・埼玉県国民健康保険団体連合会と共催で開催したところ、44市町（実施市町：32、未実施市町：12）の職員が参加しました。

○午前の部：広域連合からの説明、新座市・川口市からの事業実施状況報告、グループでの情報交換

前半は広域連合から事業実施状況や課題分析について説明後、2市の企画・調整担当者から事業実施状況等をご報告いただきました。林氏からは既存事業の活用から始めて予算確保の苦労や事業拡大の成果などを、川口氏からは対象地域の選定や対象者へのアプローチの難しさなどを報告していただきました。今後の事業実施体制などを検討するうえでの参考となる内容だったのではないのでしょうか。

後半は8グループに分かれて事業の実施状況や課題など、情報交換を行いました。



新座市 林氏



川口市 川口氏



グループでの情報交換

○午後の部：講義『一体的実施の仕組みづくりにおける課題解決に向けたPDCAサイクルの展開』、グループワーク

午後は、昨年度に引き続き文京学院大学の米澤純子教授を講師に迎え、一体的実施を進めるうえで重要となる関係機関・関係課所との連携などについての課題を解決するためのポイントなどについてご講演をいただきました。それをふまえて課題や解決策などをグループワークで話し合いました。講師から参加者の皆様への温かいエールは、励みになったのではないのでしょうか。



文京学院大学 米澤純子教授

一体的実施は、地域の高齢者の介護予防・健康づくりのための制度です。広域連合では、市町村や県国保医療課、国保連合会とも連携し、一体的実施を推進してまいります。

参加者の声（アンケートから抜粋（要約））

- ・市からの報告を聞き、同じ悩みを持って取り組んでいることに勇気づけられた。
- ・情報交換では、できることから取り組み、日々試行錯誤しながらバージョンアップしている話を聞くことができ、刺激になった。
- ・システムづくりについて考えたことがなかった。先生の話にとっても元気づけられた。
- ・事業実施ありきになっているが、事業目的や住民のあるべき姿などをに気づかされ、初心に帰ることができた。